

北方かわらばん

2007.4 第18号

新しい研究体制で臨むこれからの北総研

日に日に春の陽射しとなり、ここ旭川におきましても新緑の眩しい季節となりました。

北方建築総合研究所も、平成14年4月の旭川移転から5年が経過し、これまで、道内はもとより道外から1万3千人を超える多くの方々に視察・見学に来ていただいたほか、高校の体験学習や市民サークルの社会見学など地元や近郊の市町村からも多くの方をお迎えし研究施設や研究成果をご覧いただいております。

また、研究成果の普及を目的として平成16年度から始めた「出前講座」は、建築関係団体や小中学校、市民団体のみなさまからの依頼により研究職員が直接出向き、さまざまな要望にお応えするものですが、現在では私どもにとりましても具体的・地域的な課題発掘など今後の研究にも役立つものとなっております。これからも開かれた研究所として、研究成果を広く情報発信するとともに、地域貢献や技術支援に心がけてまいります。

この4月には大規模建築物の構造計算の適合性判定を専門とする部門を新設し、建築物の構造上の安心・安全対策に取り組む体制整備を行いました。これによりまして建築物の構造上の安全性を確認することにより道民の皆様が安心して暮らせるように努めてまいります。

また、平成9年に策定した中長期研究計画が、平成18年に計画期間が終了することから、より一層複雑化・高度化する建築、まちづくりにおける技術的課題の解決に積極的に取り組むため、人に、地球にやさしい建築、まちづくりによる「サステナブル北海道」を基本理念とし、今後10年間の今後の研究所の目指す姿、目標を明らかにし、各業務の取組方針について新しい中長期研究計画を策定しました。

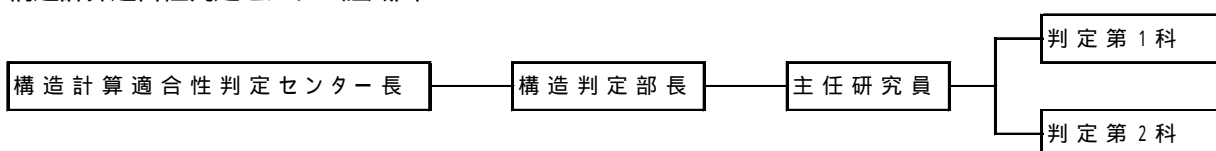
当所におきましては、新しい中長期研究計画に基づく研究体制により社会・経済における課題解決に向けた研究を推進するとともに、社会的ニーズや道内産業界からのニーズに結びついた試験研究を推進して参ります。

トピック

- 構造計算適合性判定センターを設置しました -

平成19年6月20日に施行される改正建築基準法による構造計算書の適合性判定業務のため、4月2日、道庁別館西棟4階に構造計算適合性判定センターを設置しました。業務開始は、法が施行される6月20日からで、年間約1,400件の適合性判定の実施を想定しています。体制は、センター長、構造判定部長のもと、判定担当職員6名、事務職1名の9名を予定しており、研究職員（判定員）の採用選考試験を実施するなど、業務開始に向けて準備を進めています。

構造計算適合性判定センター組織図



人に、地球にやさしい建築まちづくり～サステナブル北海道をめざして

新時代の中長期研究計画を策定

北方建築総合研究所では、平成9年に概ね10年間の中長期的な展望、視点にたった調査研究及び業務活動を進めていくため、中長期研究計画を策定し、更に平成14年度には、後期5年間の重点方向として「環境負荷低減技術の開発」「建築物のストックマネージメントの形成」「次世代北方型住宅の実現に向けた技術開発」「美しい景観形成と都市再生のマネージメントの構築」の4つを定め、これに基づいた研究開発を展開してきました。

新しい中長期研究計画は、より一層複雑化・高度化する技術的課題の解決に積極的に取り組むとともに、研究所に対するニーズの変化と社会環境の変化に対応し、調査研究、試験・評価、普及支援の業務をこれまで以上に効果的、効率的に推進していくため、平成19年度から概ね10年間の今後の研究所の目指す姿、目標を明らかにし、各業務の取組方針について取りまとめるものです。

現在、北海道では、暖房などのエネルギー消費の増加、全国を上回るスピードで進む人口減少と少子高齢化、広域分散型の地域構造、地場産材と輸入材との競合などの問題に対し、協働や循環を基本とする持続可能な地域経済の形成や、恵み豊かな自然環境・景観の保護と利用などを通して、道民一人一人が誇りと愛着を持って住み続けられる地域づくりが求められています。

北方建築総合研究所は、道内唯一の建築、まちづくりに関する総合的な研究機関として、環境負荷低減や快適な住環境の創出に関する技術手法の研究開発、住宅・建築関連産業に対する技術支援など、サステナブル(持続可能)な建築、まちづくりに必要な要素に深い関わりを持った試験研究を進めてきています。これからも社会資本の価値を高める(人に、地球にやさしい建築、まちづくり)という意味から「サステナブル北海道」を理念として掲げ、今後ともこれらの課題解決・技術開発・技術支援に取り組めます。

サステナブルとは、

1987年に国連の「環境と開発に関する世界委員会」において「サステナブル・デベロップメント(持続可能な開発)」という考え方が提唱されました。これは、従来の大量生産・大量消費型の経済一辺倒の考え方を改めて、将来の環境や次世代の利益を損なわない範囲内で社会発展をすすめるためのもので、現在では、サステナブルという考え方が、自然環境をはじめ、地域コミュニティ、芸術、建築など様々な分野において今後のあるべき姿を示す大きな流れとなってきました。

北海道立北方建築総合研究所中長期研究計画(平成19～28年度)概要

- 第1章 計画策定の趣旨
 - 1 経過
 - 2 計画の位置づけ
- 第2章 研究所を取り巻く環境
 - 1 社会経済の状況
 - 2 建築、まちづくり政策の新たな課題・動向
 - 3 研究所に求められる視点
- 第3章 調査研究の目標
 - 1 基本目標
 - 2 基本的方向(研究領域とテーマ)
- 第4章 調査研究、試験・評価、普及支援の取組み方針
 - 1 調査研究の取組み方針
 - 2 試験・評価の取組み方針
 - 3 普及支援の取組み方針
- 第5章 計画の推進
 - 1 推進計画
 - 2 研究機能の強化

新しい中長期研究計画”人に、地球にやさしい建築・まちづくり～サステナブル北海道をめざして”は当所のホームページ上でご覧いただけます。こちらをご覧ください。 <http://www.hri.pref.hokkaido.jp/0210-6/index.html>

北方建築総合研究所中長期研究計画(H19～H28) の構成

第1章 計画策定の趣旨

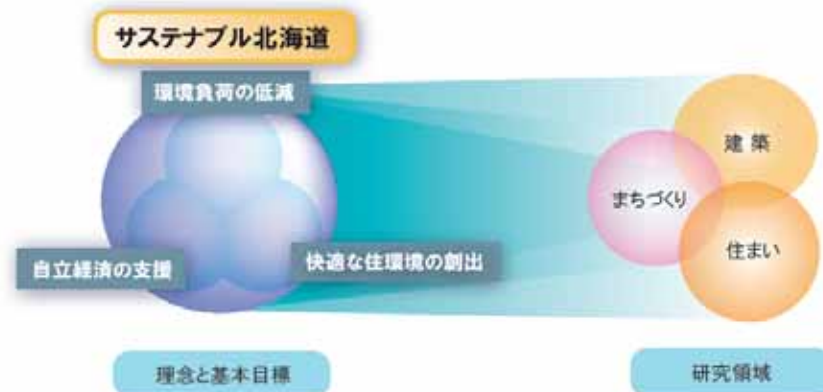
第2章 研究所を取り巻く環境

社会経済の状況	地球温暖化・リサイクル	人口減少・少子高齢化	地域主権型社会への移行
建築・まちづくり政策の 新たな課題・動向	安全に対する意識の高まり	変化への対応(ストック重視)	
研究所の視点	政策重視・地域重視	産業技術支援	建築技術の信頼確保
		学際的な研究領域	効率的運営

第3章 調査研究の目標

基本目標

「環境負荷の低減」、「快適な住環境の創出」、「自立経済の支援」を基本目標とし、人に、地球にやさしいまちづくりの技術課題の解決を通して、持続可能な地域社会「サステナブル北海道」をめざします。



基本的方向(研究領域とテーマ)

まちづくり

北海道らしいライフスタイルを実現するまちづくりを進めるための技術開発
安全で安心なまちづくりの技術手法の開発
成熟社会における地域マネジメント手法の開発

建築

快適性、経済性と調和した実践的な省エネルギーの新技術開発
未利用エネルギー、創エネルギーの活用技術開発、エコマテリアル技術の開発
建築物のファシリティマネジメントに関する技術開発
建築物の安全性向上に関する技術手法の開発

住まい

北国の暮らしを支える良質な住宅ストック形成に向けた技術開発
住宅建築関連産業の活性化に係る調査分析・技術開発

第4章 1 調査研究の取組み方針

- ・研究の進め方
- ・戦略的な研究の推進

第4章 2 試験・評価の取組み方針

- ・高度で特色ある試験分野の構築
- ・体制の確保・充実
- ・設備機器の有効活用

第4章 3 普及支援の取組み方針

- ・道民に対する普及
- ・企業に対する支援
- ・市町村に対する支援

第5章 計画の推進

- ・推進計画
- ・研究機能の強化

推進計画の構成(今後策定)

1 基本的方向に基づく調査研究の取組み

- ・方向毎に5年程度の間に取り組むべき課題を列挙

2 重点的に取り組む課題

- ・3～5年の具体的課題を設定した戦略的研究の展開シナリオ

重点課題を設定するテーマ案

地域主権型社会における北海道独自のしくみに関する調査研究と成果活用・普及

将来の住宅像に関する調査研究と成果活用・普及

安全安心なまちづくりに関する調査研究と成果活用・普及

北海道におけるファシリティマネジメント技術に関する調査研究と成果活用・普及

*サテライト通信(建設部建築指導課福島主幹、川島主査から)

新年度になり、新たに北総研の附属機関として構造計算適合性判定センターが別館西棟4階に設置され、4月2日に嵐田副知事、永山副所長により開所式が行われました。現在、6月20日の業務開始に向け着々と準備が進められています。

「北方型住宅」の新展開も3年目を迎えました。18年度の登録は74件となり、登録開始の17年度9件と合わせて計83件となりました。4月からは、ウェブ版サポ-トシステムを運用開始し、さらに使いやすく便利なシステムになりました。「北方型住宅サイト」から利用できますので、是非ともご利用ください。また、今年度は100件の大台を目指したいと思っておりますので、応援をよろしくお願ひします。

北方型住宅ウェブサイトはこちらをご覧ください。 <http://www.kita-sumai.com/>

調査研究報告会のご案内

当所の試験研究などの成果を、広くご活用していただくため、研究成果を発表する報告会を当所において開催します。報告会では、当所が重点を置き取り組んできた重点領域特別研究を中心として、平成18年度に終了した課題について発表を行います。また、実物展示などを交えて研究成果を紹介するコーナーを設置し、実際に研究を行った当研究所職員に対して直に質疑を行えるポスター展示も併せて開催します。是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。

日時 平成19年6月14日(木) 10:00~17:20

参加費無料

会場 北方建築総合研究所多目的ホール (旭川市緑が丘東1条3丁目1-20 TEL 0166-66-4211)

なお、報告会のプログラムや参加申込み方法については、当所のホームページ上に掲載しています。

こちらをご覧ください。 <http://www.hri.pref.hokkaido.jp/>

建築基準法に基づく性能評価業務のご案内

北方建築総合研究所は、東北以北で唯一の指定性能評価機関です。

当研究所が受けている性能評価区分は次のとおりです。

- 1) 防火材料の不燃性能
- 2) 防耐火構造(壁等)及び防火設備(防火戸等)の耐火性能
- 3) ホルムアルデヒド発散建築材料の性能(JIS.JAS規定のない材料)

このほかに、共同研究、受託研究、試験依頼、設備利用等のご相談のほか、技術相談、資料請求、講師派遣依頼等も承っております。



コーンカロリメーター
(建築材料の発熱性測定試験機)



耐火炉
(耐火試験装置)



小型チャンバー
(ホルムアルデヒド発散量の試験装置)

- 研究所へのお問い合わせは -

北海道立北方建築総合研究所企画指導室 TEL 0166-66-4217.4218 FAX 0166-66-4215
078-8801 旭川市緑が丘東1条3丁目1-20旭川リサーチパーク
URL:<http://www.hri.pref.hokkaido.jp> E-mail:info@hri.pref.hokkaido.jp

発行・編集 北海道立北方建築総合研究所